

令和4年度第1回佐倉市産業振興推進会議 議事録(要録)

日時:令和5年3月22日(水) 10時00分～11時50分

会場:佐倉市役所 議会棟2階 第3委員会室

出席委員	野口委員長、橋本委員、林委員、山中委員、岩渕委員、 江川委員、松尾委員、山崎委員、坂本委員、三橋委員 (欠席:鈴木副委員長、市原委員)
事務局	(産業振興部)花島部長 (農政課)鈴木課長 (商工振興課)高橋課長、山口副主幹、矢島主査補 (佐倉の魅力推進課)鈴木課長
傍聴	0名

開会 事務局により開会

1 産業振興部長あいさつ

2 議題

〈1)令和4年度佐倉市のコロナ&物価高騰対策支援について(報告)

事務局から資料1(佐倉市のコロナ&物価高騰対策支援について)に基づき、対策(キャッシュレス決済等)の概要を説明

〈質疑応答、意見〉

A 委員:農業者支援施策1番の執行状況について。予算額に対して決算額に開きがあるが、これはなぜか。

→事務局(農政課長):執行状況について、北海道を除く全国の年間平均肥料費を計算し、75万円としたが、実際は40万円であり、これが理由の1つと考えられる。また、当初想定した申請数700件は農林業センサスの数字を用いたが、実際の申請は372件となり約半数であった。統計等を確認したところ、所得や肥料費が少なく、申請をしなかった方が多く、これも理由の一つとみられる。事務局としては、今後も農協やHPの活用により周知の徹底に努めていきたい。

A 委員:肥料の選定基準として、著しい値上がりを挙げているが、肥料に焦点を当てた理由はなにか。

→事務局(農政課長):コロナ対策は今回で2回目であり、令和2年度の初回では資機材に補助を行ったが、昨今のウクライナ問題から、今回は肥料を補助対象とした。15%という数値については、令和5年3月時点での農林業物価指数11.5%に対して、今後の物価指数上昇を踏まえたものである。

B 委員:私は水耕栽培を行っているが、肥料費の値上がりの影響が大きいため、今回の支援は助かった。農家によって一時的または継続して肥料を使用するが、私のように継続して使用する農家にとっては、特に有難かった。

C 委員:キャッシュレス決済などの支援事業で事業者から評判の声を聞いたが、次年度もこのような事業は行うのか。

→**事務局(商工振興課長):**次年度については、予算の都合もあり、現時点での計画はないが、支援事業の有効性が確認できたため、今後も折々提供できたらと考えている。

D 委員:花火大会の分散開催について。所感として良かったと思っている。今後は、分散開催を維持する方針か、止める方針か分かれば教えてほしい。

→**事務局(魅力推進課長):**コロナ禍ということもあり、分散型の花火大会としていたが、佐倉といえば印旛沼の花火という声も大きい。そのため、両方を勘案しながら実行委員会のほうで検討していきたい。

E 委員:花火大会の経済効果は大きいのか。

→**事務局(魅力推進課長):**経済効果として明確な数値はないが、印旛沼開催の場合、17万人の来場者があり、市内で一番来場者が多いイベントと捉えている。そのため、商業者の出店による利益も多く、経済効果は大きいと考えている。

F 委員:キャッシュレス決済 CP について、この CP を機に高齢者でも paypay を使えるようになった方が多かった。入門の手助けが手厚く感謝している。

→**事務局(商工振興課長):**応援の言葉をいただき有難い。高齢者へのキャッシュレス普及は一つの課題と捉えており、令和2年度から引き続き2回目のキャンペーンであるが、前回今回共に、高齢者向けのスマホ講座を開催した。実態として、前回はほぼ定数の参加があったが、今回は20~30人の募集に対し、一桁台の参加だったと記憶している。事務局の捉え方として、スマホが普及してきたのではというのが1つ。また、今回は公民館と連携してスマホ講座を行い、参加しやすい形で高齢者がスマホを使えるようになることは良かったと捉えている。

(2)産業振興ビジョンの進捗について

事務局から資料2(佐倉市産業振興ビジョン進捗管理シート)に基づき、産業振興ビジョン(商工事業等)の概要を説明

<質疑応答、意見>

A 委員:佐倉市スマートオフィスプレイスが有効だったとのことだが、それ以外については未達。これについて良かった点も含めて、どの辺に原因があるのか。

→**事務局(商工振興課長):**指標については、指摘のとおり厳しいものとなっている。令和4年度に様々な施策を講じているが、現状との乖離が目立ってしまった。今後も施策を講

じていく中で、事業者や市民に喜んでもらえるような様々な活性化に努めたい。また、スマートオフィスプレイスの好評については、コロナ禍での在宅勤務や学生の zoom での授業という中での活用が多かった為、利用が増えたと考えている。

C 委員:企業誘致助成金制度について、3つ聞きたい。第1に、令和3年度1社となっているが、これが新規企業なのか、既に立地して増設等を行う既存立地企業なのか。第2に、令和4年度途中であるが、新規立地企業による利用はあるか。第3に、市内雇用人数に関連して、市内や市外の工業高校に呼びかけなどをどの程度行っていたか。

→事務局(商工振興課長):第1に、令和3年度の1社は、既存立地企業への設備再投資融資を行った。第2に、現在新規立地企業3社が審査中であり、順調に行けばこれが利用3件となる見込み。第3に、市内雇用人数について、企業誘致制度の活用を前提としている為、数は少ないが、これに限らず市内雇用を重要と捉え、促進に努めていく。具体的には、産業大博覧会で、高校生に市内企業の活躍を認知してもらう等の活動に取り組んでいきたい。

A 委員:企業誘致における用地不足問題について、IT 企業誘致や第4の工業団地等の計画はあるか。

→事務局(商工振興課長):現在そのような計画はしていないが、事務局としても大きな課題として捉えている。今後も、解決策を検討していきたい。

D 委員:第1に、観光ビジョン10年計画について、人・予算がついてきたのか。第2に、草ぶえの丘・サンセットヒルズ・市民の森の民間活用構想の進捗はどうか。

→事務局(魅力推進課長):人・予算は不足している状況であり、財政部門から注目される為にも、実績作りが喫緊の課題と認識している。その中でも、観光ダブルコア構想や古民家活用は、4月当初から予算化されており、実績作りに努めていく。

→事務局(農政課長):草ぶえの丘等の民間活用構想については、現在、サウンディング調査中であり、市の検討委員会を交えながら管理運営形態について協議を行っている。調査や協議の取りまとめ中ではあるが、次年度以降これを活用していきたい。

A 委員:草ぶえの丘の更なる活用法はないのか。例えば、野うさぎ等の野生動物を用いた集客など検討してみてはどうか。

→事務局(農政課長):草ぶえの丘は、市内唯一のレクリエーション施設ということもあり、指摘のとおり集客性の課題があるが、ヤギのポニョやSL 広場整備など様々な活動に着手している。今後も利用者増加に向けて、周知宣伝に取り組んでいきたい。

F 委員:草ぶえの丘のような商業と、市内飲食店を絡めた団体客向けの観光プランなどはあるか。

→事務局(魅力推進課長):観光客の市内滞在時間の少なさに関連して、食という課題として認識している。今までは食事になると成田に観光客が流れてしまっていたが、現在、

大型バスでの団体客受け入れに向け、飲食店への営業活動を行っており、ウイシュトンホテルなど順次団体受け入れ可能な飲食店が増えてきている。今後、これをさらに拡大し、市内飲食店の利用促進に努めていきたい。

E 委員:フィルムコミッションについて、都内から約1時間という立地を活用して、ロケ誘致などさらに力をいれていくのが良いのではないかと。また、市内宿泊施設が少なくイベントがあって宿泊機会があるにもかかわらず帰宅してしまう方がいる為、これについて対応策などはあるか。

→**事務局(魅力推進課長):**ロケ誘致については、かなり力を入れていきたいと考えており、今年度233件のロケ撮影を受け入れた。次年度は、シティプロモーション担当を1人増員する予定で、さらに活動の幅を広げていきたい。なお、映画やドラマの最後にテロップで千葉県佐倉市を出していただいております、こういったところで露出を図れるよう力を入れていきたい。また、宿泊施設の不足については、大きな課題であり、商工会議所と連携を図りながら、企業誘致という点も含めて検討していきたい。

A 委員:隣市の直売所が人気なのに対して、市内直売所は活気がない。これについて、立地条件等を含めて、工夫してみたらどうか。

→**事務局(農政課長):**市内農産物の販売・周知については、長年の課題としている。道の駅のようなメイン通りに面したところでの農産物販売ができる施設は、必要と考えており、集客性などを勘案しつつ、検討していきたい。

B 委員:直売所に関連して、農家の高齢化が問題になっている。このままでは、農業の担い手が減少してしまうため、新規就農者への支援が重要になってくるが、ネット販売の普及などを含め、どのような支援をしているのか。

事務局(農政課長):新規就農については、様々な問題があるのは承知している。新規就農者の方と話す機会が多いため、直売所やネット販売等に関連する支援を検討していきたい。

野口委員長:本日いただいた皆様からのご意見を、コロナ&物価高騰対策支援、産業振興ビジョンに反映させることでよろしいか。

→全員賛成

3. その他(連絡事項等)

事務局から委員の任期及び次年度の委員選任状況について説明。

閉会